

# 羽幌周辺海域における混獲状況調査 及び葛西臨海水族園における混獲回避実験

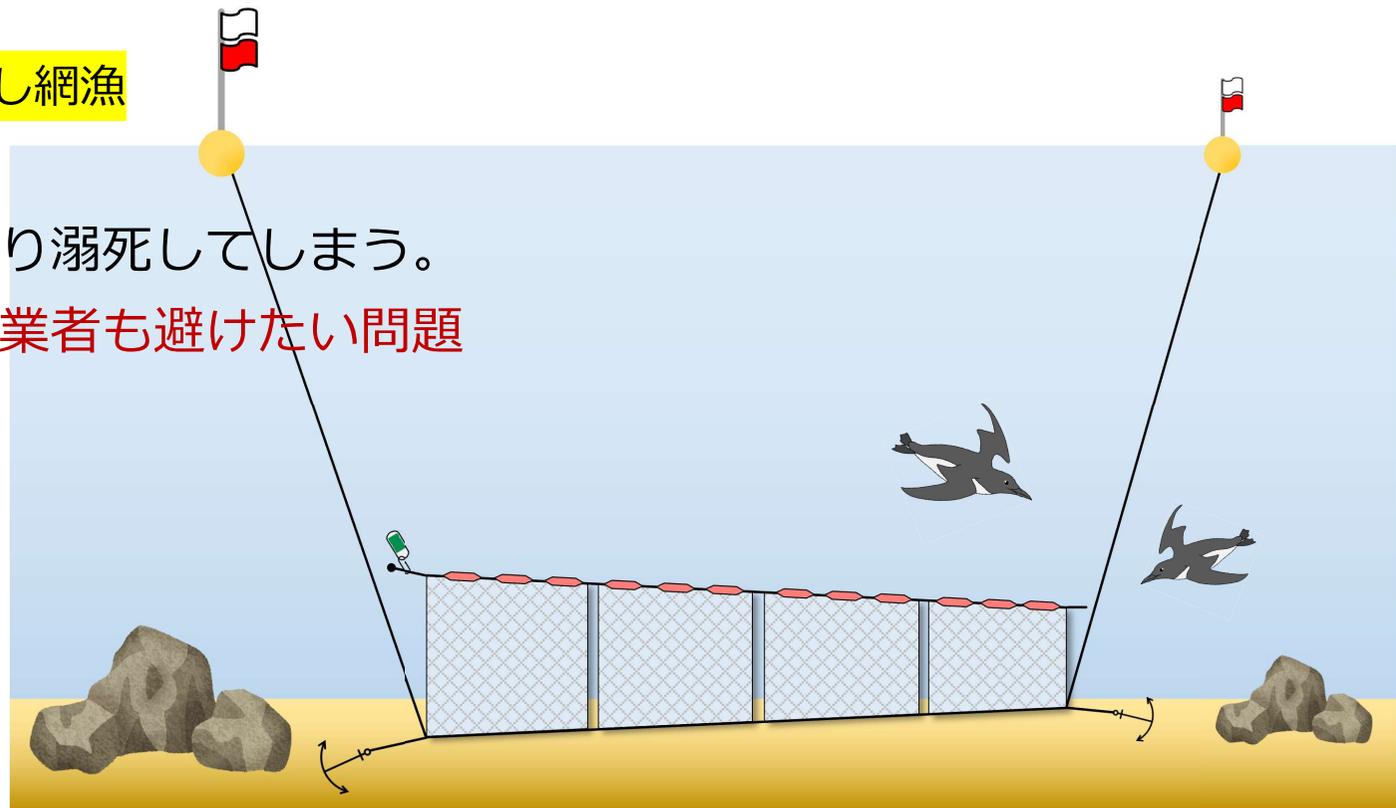
- 佐藤 信彦 (北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター)
- 鈴木 康子 (バードライフ・インターナショナル)
- 野島 大貴 (葛西臨海水族園)

## 取り組み背景

- 漁獲対象外の生き物が偶発的に漁具にかかってしまう「混獲」
- 海鳥の個体数を減らす要因ワースト3の1つ
- 特に「刺し網混獲」は、効果的な回避策が見つかっていない
- 天売島のウミガラスが激減した要因の1つとも言われている

### 水中に網のカーテンを設置する刺し網漁

- 偶発的に潜水性海鳥が絡まり溺死してしまう。
- 網が損傷してしまうため漁業者も避けたい問題



## 羽幌周辺海域における混獲状況調査 (2021年6月～継続中)

- 漁業者の協力を得て、混獲の発生状況と混獲条件の把握を目的としてデータ収集を実施
- 記入式データシート/スマートフォンを介して、194操業分のデータを収集済

これまで3羽の混獲報告

漁場の位置情報に加えて

- 深度情報
- 対象魚種
- 浸漬時間
- 網目、反数
- 漁場の照度

### 今後の予定

- 少なくとも2023年6月まで データ収集を継続予定
- 2年分の操業データ (推定250操業) をもとに混獲条件を精査

## 葛西臨海水族園における混獲回避実験

- 水中行動を観察できる「海鳥の生態」エリアにて**回避策を検証** ※動物福祉に配慮して実施
- 昨年度までは「LED・警戒声・水上カカシ」の効果を検証
- 今年度からは、実現可能性を考えて**漁網の色の違いによる混獲リスクを検証**



↓実験で使用した亚克力棒



### 今後の予定

- 実験データの解析 (色による接触回数・回避率の違いはありそう…)
- 2023年1-2月に追加実験